

つぎつぎに市民負担増やし こんどは下水道料金引き上げ！

入間郵便局の集配業務存続を

入間市議会が関係大臣と 公社総裁に要望書を提出

入間市議会は12月13日、「入間郵便局集配業務廃止に反対する要望書」を、関係大臣と郵政公社総裁に提出しました。

9月の定例議会では、4千600人余りの署名を添えた請願を受け、「入間郵便局集配業務廃止に反対する意見書」を全会一致で採択。関係機関に送付しました。

意見書を提出したが動きない

その後、政府等の動きに変化がないため、あらためて「要望書」の提出となったものです。要望書は、「15万都市としての郵便局の適正なあり方について再考」を求めています。

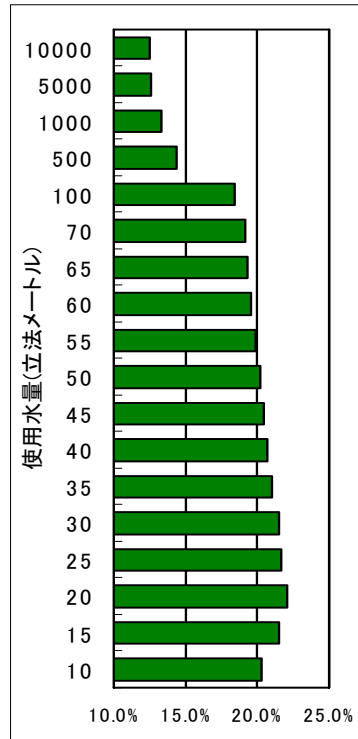
要望書は、菅義偉総務大臣、大野松茂総務副大臣、田村憲久総務副大臣（郵政民営化担当）、生田正治日本郵政公社総裁に宛てられ、入間市議会を代表して、鹿倉貞二議長と宮岡治郎副議長が持参しました。

12月定例会に、下水道料金を引き上げる条例改正案が提出されました。これに対し日本共産党は、相次ぐ増税や負担増で苦しむ市民に、新たな負担を課すものとして反対しました。

一般市民用には負担重く 大口利用者には軽く

下水道料金は、6月から平均19・06%の引き上げ。しかし、一般市民が利用する1か月あたりの使用水量15〜30立方メートルで最も引き上げ率

使用水量別の引き上げ率



近隣で最も高い料金に

改訂後の下水道料金は、荒川右岸流域下水道に入っている市のなかで、17年に引き上げた富士見市を抜き、志木市に次いで2番目に高い料金となりました。川越市や所沢市、狭山市など、近隣自治体と比較しても、最も高いものとなります。(表)

市	料金 (円)
入間市	1,732円
所沢市	1,029円
川越市	1,050円
狭山市	1,365円
富士見市	1,575円

(使用水量20立米・月額)

「市の負担重いかから」と 市民に負担を移し替え

料金引き上げの理由について、市は「一般会計からの繰り入れが、歳入不足のため困難」と説明しています。しかし、特別会計を困難にしている主要因は借金の返済、とりわけ

利子払いにあります。日本共産党は条例の反対討論で、低金利時代の今日、国に繰り上げ返済や借り換えを認めるよう迫るべきだと主張しました。

お年寄りに「差別医療」の危険もつ後期高齢者医療制度

75歳以上の高齢者を、現在加入している国民健康保険や組合健保から切り離し、後期高齢者だけを被保険者とする独立した医療保険制度が「後期高齢者医療制度」。運営主体は都道府県単位で全市町村が加入する「広域連合」。08年4月にスタートします。

滞納者には資格証明書

保険料は基本的に年金から「天引き」。滞納者には、国保と同様、保険証を取り上げ、資格証明書が発行されます。医療保障なしに生きていけない弱者から、情け容赦なく保険証を取り上げます。

保険料引き上げか 医療内容引き下げか

新制度のもとでは、診療報酬も「別立て」になるため、医療が増えるたびに、「保険料の値上げ」か「医療内容の引き下げか」という、どちらをとっても「痛み」しかない選択を迫られることとなります。日本共産党は、広域連合の設立に反対しました。

未来新国会の悪罵

一般会計補正予算で、吉沢かつら議員が「後期高齢者医療広域連合設立準備会市負担金の支出に反対」と討論。すると未来新国会が塩屋議員を討論に立たせ、国保の資格証明書を交付問題を例に「共産党は悪質な人の肩を持つ」とかみつきました。日本共産党はただちに金子健一議員が討論に立ち、「憲法で保障された社会保障の制度に、資格証明書交付という制裁を持ち込むことは間違」と、党の立場を述べました。

会派	議員名
未来新国会	塩屋和雄、鹿倉貞二、宮岡治郎、平山五郎、宮岡幸江、田中智義、近藤常雄、友山信夫、齋藤武久
入間市民クラブ	金子俊雄、忽滑谷陽子、駒井勲、上原正明
公明党	堤利夫、永澤美恵子
民主党・市民フォーラム	金澤秀信
市民フォーラム	野口哲次
いるま緑風会	山下修子
山本秀和	そらまめ
市民フォーラム	齋藤國男

日本共産党市議会報告

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632
2007年1月

石田よしお Tel 2964-4048 携帯070(5086)2075
金子 健一 Tel 2933-0551 携帯090(1030)6044
安道よし子 Tel 2962-8082 携帯090(4811)0553
吉沢かつら Tel 2964-0208 携帯090(3514)3077

元加治駅と仏子駅の 安全性と利便性向上

金子健一 議員



共産党議員団が毎年行っている、西武鉄道本社への要望にも関わり、両駅の改善を市長に質問しました。

順位は高い」と答えていました。市長は「エレベーター2基の設置と通路、ホームの屋根、トイレ等を整備。飯能市とは21年度実施を確認」と答えました。

元加治駅南口開設と駅員配置も要望

元加治駅の南口開設と駅員の配置について、市長は

「南口は西武にも要望し、飯能市とも協力関係を確認している。駅員の配置も難しいが、毎年強く要望してきたい」と答弁しました。

仏子駅北口の整備は急務 地域住民との対話開始を



道路幅が狭く、朝夕の送迎車と歩行者の事故も心配される仏子駅北口について、金子議員の質問に、市長は「なんとか整備をしたい」と思っている。武蔵藤沢の

「南口は西武にも要望し、飯能市とも協力関係を確認している。駅員の配置も難しいが、毎年強く要望してきたい」と答弁しました。

郵便局の集配業務存続 障がい者の作業所守れ

吉沢かつら 議員



9月議会で、入間郵便局の集配業務廃止について、市長は「状況に応じて対応」と答弁。吉沢議員は、その後の郵政公社からの説明と市の対応について質問。

利用料・補助金はどうなる？

「公社から直接説明を受けたが、未だ納得いく回答は得られていない」と答えました。

市長は今すぐ 反対の表明を

廃止反対の態度表明を求めたのに、市長は今、公社からの回答を待っている。回答の中身によって、

たされています。吉沢議員は、今後の利用料・補助金について質問。市長は「利用料が工賃を上回るものがあってはならない。国が法の見直しをしているので、動向を見て検討する」と答えました。

生きがいの場 である作業所

作業所は今でも厳しい財政のなかで、関係者や職員の献身的な努力のもとに成り立っています。さらに補助金が減らされると運営はたちゆかなくなり、障がい者の居場所を奪うこととなります。吉沢議員は「作業所は障がい者の生きがいの場となっている。安心して通所できるように支援の強化を」と要請しました。

市民の願い、実現めざして

12月定例議会における日本共産党議員の一般質問



入院高額療養費は基準 以上窓口払い不要に

石田よしお 議員



工業振興助成 を雇用改善に

まじめに働いても生活保護基準（3人家族で月25万円）以下の収入しかない、ワーキングプアが社会問題になっていきます。石田議員は、多額な市税を投入している工業振興助成を雇用条件改善に役立てるべきと質問。市長は「4億7千万円助成してきた。サービス残業などはあってはならない。入間市民や正社員の雇用を依頼する」と前向きな取り組み

「区画整理事業資金計画・歳入状況」で、今年度は4区画整理合計の市費が前年比で37億円余も激増した理由を石田議員が質問。市長は「資金計画の資料は誤解を招くのでお詫びをし、訂正する。新たな負担増はない」と答弁。

な医療費負担に悩まされます。基準を超えた医療費は全額払った後に、申請すれば2〜3か月後に返還されます。石田議員は「4月から、入院した場合の高額療養費が、月収56万円以上は15万円、一般は8万1000円、市民税非課税が3万5千400円まで支払えばすむように改善できるのではないかと質問。市長は、4月から実施の方向で、自己負担限度額の認定証などを検討し、広報紙や税金の納付書などで改善されたことを知らせたい」と答弁しました。

「区画整理の市費記述を明瞭に」を約束しました。

「四月より基準までの負担に入院すると高額

石田議員は、準備期間が短いので、市民への周知を徹底するよう要請しました。

子どもの安心・安全な 居場所づくりのために

安道よし子 議員



政府は「放課後子ども教室」と「学童保育」を一体化した「放課後子どもプラン」を発表。各市町村で教育委員会が主導し、福祉部局と連携。原則として全ての小学校区で19年度から実施の予定です。

打ち出したため、学童保育を廃止する自治体が出ています。安道議員が「学童保育を今後とも堅持すべき」と求めたのに対して、「現状では、学童保育を堅持する」と市長が答弁。

「施設の老朽化や大規模化の課題にも取り組むべき」と質したのに対し、『子どもプラン』と関連して対応する」と答えました。

16校全ての小 学校が対象に

安道議員が「プラン」実施の取り組みについて質問。教育長は「19年度実施に向け、内部検討プロジェクトを作り調査研究中」と答弁。「学校側の理解・協力、地

域との協力体制はどうか」との質問に、教育長は「スペース・人員等、学校の理解が必要。地域の協力も必要であり、検討中」と答えました。

「子どもプラン」の周知の時期はいつ頃か」との質問に、「16校全ての小学校を対象に進めたいが、時期の明言は避けたい」と不明確な答弁。

「学童保育は堅持」と市長

安道議員は、安心して遊べる場所を望む、市民の声にこたえる「プラン」の実現になるよう求めました。

安道議員は「武蔵藤沢駅入口交差点から不老川までの市道整備は急務。計画は進んでいるか」と質問。市長は「未だ進展がない。第5次総合振興計画に盛り込み、早期着手のために努力する」と答弁しました。